

フランス語ⅠB（演習）再履修クラス F1261(2)

【成績評価の方法・観点】

フランス語の運用能力を身につけた度合いを、授業中に行う日常評価（ミニプロジェクト、動画作成、筆記の課題）と参加度(70%)、および口頭期末試験(30%)によって評価する。

【教科書】

オリジナル教材のコピーとMP3ファイルを配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

外国語学習の初級段階では、予習よりも高頻度の復習が重要である。教材の音声のMP3形式ファイルを使用し、授業で使った会話のモデルやフレーズを繰り返し聞き、発話の練習をすること。授業で書いた文章を繰り返し読み、書き、また展開することにより高いレベルの習得が可能になる。

【その他（オフィスアワー等）】

演習の授業なので毎回の出席と授業への積極的な参加が求められる。